



平成28年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年3月10日

上場会社名 株式会社バルニバービ 上場取引所 東
 コード番号 3418 URL http://www.balnibarbi.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 裕久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 辻元 拓士 TEL 06-4390-6544
 四半期報告書提出予定日 平成28年3月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成28年7月期第2四半期の連結業績（平成27年8月1日～平成28年1月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年7月期第2四半期	3,969	—	239	—	242	—	153	—
27年7月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 28年7月期第2四半期 153百万円（－％） 27年7月期第2四半期 -百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年7月期第2四半期	39.40	37.56
27年7月期第2四半期	—	—

- （注）1. 当社は第2四半期の業績開示を平成28年7月期から行っているため、平成27年7月期第2四半期の業績及び平成28年7月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
2. 当社は、平成27年10月28日に東京証券取引所マザーズに上場したため、平成28年7月期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、新規上場日から平成28年7月期第2四半期連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
3. 当社は、平成28年2月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成28年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年7月期第2四半期	4,638	1,679	36.2	404.76
27年7月期	3,933	938	23.9	258.01

（参考）自己資本 28年7月期第2四半期 1,679百万円 27年7月期 938百万円

（注）当社は、平成28年2月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、平成27年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年7月期	—	0.00	—	—	—
28年7月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年7月期の連結業績予想（平成27年8月1日～平成28年7月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,551	28.7	547	38.3	557	15.9	322	8.9	79.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、平成28年2月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。このため、平成28年7月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の平成28年7月期通期の1株当たり当期利益は159円95銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年7月期2Q	4,149,000株	27年7月期	3,639,000株
② 期末自己株式数	28年7月期2Q	一株	27年7月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年7月期2Q	3,907,859株	27年7月期2Q	3,639,000株

(注) 当社は、平成27年7月3日付で普通株式1株につき5株の株式分割及び平成28年2月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成27年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点においては、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和策を背景として、企業収益の改善や訪日客によるインバウンド効果などによる緩やかな回復基調が見られた反面、中国経済の減速や世界同時株安などの懸念材料もあり先行きは不透明な状況の中で推移しております。

外食業界におきましても、高付加価値業態を中心に回復傾向が見られてはおりますが、人手不足による人件費上昇や競合企業との競争激化など、引き続き予断を許さない状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループでは多様な新規出店プロジェクトの企画開発を推進する一方で、新たな店舗運営子会社の経営を担う人材育成に注力してきたことで平成28年1月に新たに個性ある店舗運営子会社3社を設立することを決議し、店舗数増加に伴う運営体制はより強化されております。

当第2四半期連結累計期間における店舗の増減といたしましては、レストラン事業では5店舗をオープン、期間限定店舗1店舗をクローズ、スイーツ事業では2店舗をオープンし、当社グループとしては計7店舗をオープン、1店舗をクローズしております。結果、当第2四半期連結会計期間末現在における当社グループの運営する店舗数は64店舗となっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は3,969,046千円、営業利益239,286千円、経常利益242,898千円、親会社株主に帰属する四半期純利益153,963千円と順調に推移しております。

事業別の業績は以下のとおりであります。

① レストラン事業

レストラン事業におきましては、平成27年9月に東京都新宿区にて大学レストランとして4店舗目となる「グッドモーニングカフェ早稲田」をオープン、平成27年10月には福岡市中央区にて福岡エリア初出店として海外飲食ブランド「アンティーカ ピッツェリア ダミケーレ福岡」をオープンしております。また平成27年11月には、東京都台東区にてパッドロケーション戦略に則した出店として「ボン花火」「焼くろ澤」を同時オープン、大阪市天王寺区では不動産デベロッパーより天王寺公園の再活性化プロジェクトである「てんしば」に誘致され、「青いナポリ インザパーク」をオープンしております。

店舗運営に関しましては、店舗運営子会社ごとに店舗の状況に合わせたきめ細かいレストラン運営に取り組む一方で、新規店舗における顧客満足度と収益性を向上させる店舗運営方法の確立、営業企画・イベントの立案、夏季におけるビアガーデンやバーベキューや冬季におけるこたつテラスなど季節に応じた店舗運営などの取り組みを実施しております。

また、当社独自の組織制度である店舗運営子会社につきましては、平成28年1月には関東地区における店舗運営を担う株式会社バルニバービウィルワークス、九州地区における店舗運営を担う株式会社バルニバービイートライズ及び複数の代表取締役が全責任を持って各担当店舗の運営を行う株式会社バルニバービタイムタイムと個性ある店舗運営子会社3社の設立を決議したことで、個店ごとに異なる店舗運営体制がより強化されております。

結果、当第2四半期連結会計期間末におけるレストラン事業の店舗数は、関東地区27店舗、関西地区17店舗、その他地域1店舗の計45店舗となり、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,461,091千円となりました。

② スイーツ事業

スイーツ事業におきましては、季節商品やコラボ商品などの商品開発を推進する一方で、平成27年9月には東京都新宿区の早稲田大学の運営する小劇場「どらま館」に「トーキョークレープガール 早稲田どらま館」をオープン、平成27年10月には川崎市幸区「ラゾーナ川崎」に「花のパパロア ハパロ/パラディ ラゾーナ川崎店」をオープンしております。

結果、当第2四半期連結会計期間末におけるスイーツ事業の店舗数は、関東地区10店舗、関西地区3店舗の計13店舗となり、当第2四半期連結累計期間における売上高は289,872千円となりました。

③ アスリート食堂事業

アスリート食堂事業におきましては、アスリートだけではなく健康志向の顧客へのターゲット層の拡大及びオペレーション効率改善によるコストダウンによる収益性改善を進めております。

結果、当第2四半期連結会計期間末におけるアスリート食堂事業の店舗数は、関東地区4店舗、関西地区1店舗、その他地域1店舗の計6店舗となり、当第2四半期連結累計期間における売上高は201,399千円となりました。

④ その他の事業

その他の事業におきましては、企業、行政機関などに対して、地域ブランド振興、カフェ・レストランの企画・開発等のコンサルティングを行っております。当第2四半期連結累計期間における売上高は16,683千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して、705,332千円増加し4,638,445千円となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末と比較して、232,634千円増加し1,526,097千円となりました。これは主に東京証券取引所マザーズへの上場時における公募増資に伴う現金及び預金の増加319,428千円によるものであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末と比較して、472,698千円増加し3,112,348千円となりました。これは主に店舗用不動産取得に伴う土地の増加386,362千円、建物及び構築物の増加80,413千円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して、35,130千円減少し2,959,093千円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末と比較して、66,213千円減少し1,383,087千円となりました。これは主に買掛金の減少69,493千円、未払法人税等の減少69,095千円、未払消費税等の増加36,516千円、1年内返済予定の長期借入金の増加35,120千円によるものであります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末と比較して、31,082千円増加し1,576,005千円となりました。これは主に長期借入金の増加70,610千円、社債の減少30,000千円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して、740,463千円増加し1,679,352千円となりました。これは主に公募増資に伴う資本金の増加293,250千円及び資本剰余金の増加293,250千円、利益剰余金の増加153,963千円によるものであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は333,380千円となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益242,898千円、減価償却費186,143千円、主な減少要因は、法人税等の支払額144,729千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は610,617千円となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出631,216千円、差入保証金の差入による支出27,192千円、主な増加要因は、差入保証金の回収による収入46,907千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は596,955千円となりました。主な増加要因は、株式の発行による収入581,567千円、長期借入れによる収入320,000千円、主な減少要因は、長期借入金の返済による支出214,270千円、社債の償還による支出35,000千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間については、売上高、営業利益、経常利益、親会社株式に帰属する四半期純利益ともに計画どおり推移しており、平成27年10月28日付「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました平成28年7月期の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前連結会計年度については、連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	829,278	1,148,707
売掛金	202,689	166,868
商品及び製品	59,624	63,651
原材料及び貯蔵品	15,167	17,073
繰延税金資産	35,155	25,031
その他	154,834	104,765
貸倒引当金	△3,287	—
流動資産合計	1,293,463	1,526,097
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,183,394	1,263,807
機械装置及び運搬具(純額)	19,145	22,734
工具、器具及び備品(純額)	206,262	229,312
土地	379,504	765,867
リース資産(純額)	236,858	250,244
建設仮勘定	16,588	35,212
有形固定資産合計	2,041,752	2,567,180
無形固定資産		
のれん	8,570	7,142
リース資産	651	416
その他	62,686	59,899
無形固定資産合計	71,908	67,457
投資その他の資産		
差入保証金	359,902	340,033
繰延税金資産	73,850	69,672
その他	92,235	68,004
投資その他の資産合計	525,988	477,709
固定資産合計	2,639,649	3,112,348
資産合計	3,933,113	4,638,445

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	211,938	142,444
1年内償還予定の社債	70,000	65,000
1年内返済予定の長期借入金	421,776	456,896
リース債務	72,506	80,632
未払金	355,918	312,749
未払法人税等	143,034	73,938
未払消費税等	38,455	74,972
賞与引当金	3,926	3,926
資産除去債務	1,629	—
その他	130,116	172,528
流動負債合計	1,449,301	1,383,087
固定負債		
社債	70,000	40,000
長期借入金	1,081,376	1,151,986
リース債務	186,205	192,380
資産除去債務	130,168	138,676
その他	77,173	52,962
固定負債合計	1,544,922	1,576,005
負債合計	2,994,223	2,959,093
純資産の部		
株主資本		
資本金	99,000	392,250
資本剰余金	150,416	443,666
利益剰余金	689,473	843,436
株主資本合計	938,889	1,679,352
純資産合計	938,889	1,679,352
負債純資産合計	3,933,113	4,638,445

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)
売上高	3,969,046
売上原価	1,113,694
売上総利益	2,855,352
販売費及び一般管理費	2,616,065
営業利益	239,286
営業外収益	
受取利息	109
受取保険金	17,718
消費税差額	9,458
その他	1,820
営業外収益合計	29,106
営業外費用	
支払利息	10,218
株式交付費	4,932
株式公開費用	7,213
その他	3,130
営業外費用合計	25,494
経常利益	242,898
税金等調整前四半期純利益	242,898
法人税、住民税及び事業税	74,632
法人税等調整額	14,302
法人税等合計	88,935
四半期純利益	153,963
親会社株主に帰属する四半期純利益	153,963

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)
四半期純利益	153,963
四半期包括利益	153,963
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	153,963

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	242,898
減価償却費	186,143
のれん償却額	1,428
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,287
支払利息	10,218
売上債権の増減額(△は増加)	35,820
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,932
仕入債務の増減額(△は減少)	△69,493
前払費用の増減額(△は増加)	14,199
未払金の増減額(△は減少)	△42,006
未払費用の増減額(△は減少)	4,574
預り金の増減額(△は減少)	11,747
未収消費税等の増減額(△は増加)	29,050
未払消費税等の増減額(△は減少)	36,516
前受収益の増減額(△は減少)	7,913
その他	22,623
小計	482,414
利息及び配当金の受取額	109
利息の支払額	△10,164
法人税等の還付額	5,751
法人税等の支払額	△144,729
営業活動によるキャッシュ・フロー	333,380
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△631,216
差入保証金の回収による収入	46,907
差入保証金の差入による支出	△27,192
その他	884
投資活動によるキャッシュ・フロー	△610,617
財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△41,326
割賦債務の返済による支出	△14,015
長期借入れによる収入	320,000
長期借入金の返済による支出	△214,270
社債の償還による支出	△35,000
株式の発行による収入	581,567
財務活動によるキャッシュ・フロー	596,955
現金及び現金同等物に係る換算差額	△289
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	319,428
現金及び現金同等物の期首残高	829,278
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,148,707

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年10月28日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。上場にあたり、平成27年10月27日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株発行255,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ293,250千円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金は392,250千円、資本剰余金は443,666千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、飲食店運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。